

↓ 当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこのたび、下記項目の検査受託を開始することとなりましたのでご案内いたします。

弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後とも検査の新規拡大に努めてまいります。

敬具

記

### 新規受託項目

- [12392] プレガバリン

### 受託開始日

- 2021年6月1日(火)



# プレガバリン

プレガバリンは神経障害性疼痛や線維筋痛症に伴う疼痛に効果を示す薬剤です。中枢神経系において、電位依存性カルシウムチャネルの $\alpha_2\delta$ サブユニットに高い親和性で結合し、神経前シナプスにおけるカルシウムイオンの流入を低下させ、グルタミン酸、サブスタンスPなどの興奮性神経伝達物質の放出を抑制することで鎮痛効果を発揮すると考えられています。日本ペインクリニック学会「神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン 改訂第2版」で、神経障害性疼痛に対する第一選択薬のひとつに位置づけられています。

プレガバリンは体内では代謝されずほとんどが尿中に排泄されるため、腎機能が低下している患者では、血中濃度が高くなり副作用が発現しやすくなるおそれがあります。適正な投与量の決定および維持、過剰投与による副作用を回避するためにも血中濃度測定は重要と考えられます。

## 検査要項

項目コード	12392
検査項目名	プレガバリン
検体量	血清 または EDTA血漿 または ヘパリン血漿 0.3mL* [容器番号:03番→02番 または 容器番号:14番→02番 または 容器番号:10番→02番]
保存方法	冷蔵
検査方法	LC-MS/MS
有効治療濃度	(設定せず) $\mu\text{g/mL}$
所要日数	3~5日
検査実施料	未収載
主な商品名	リリカ®
報告下限	0.5 $\mu\text{g/mL}$ 未満
報告上限	9,990,000 $\mu\text{g/mL}$ 以上
報告桁数	小数1位、有効3桁
備考	*：検体採取方法について ・血清の場合： 分離剤入り採血管は使用しないでください。測定値が分離剤の影響を受ける場合があります。 ・EDTA血漿の場合： EDTA-2Na採血管(容器番号14番)にて採血し、転倒混和した後、遠心分離し、血漿成分のみを提出用容器(容器番号02番)に移し、冷蔵にてご提出ください。 ・ヘパリン血漿の場合： ヘパリン採血管(容器番号10番)にて採血し、転倒混和した後、遠心分離し、血漿成分のみを提出用容器(容器番号02番)に移し、冷蔵にてご提出ください。

## 参考文献

日本ペインクリニック学会: 神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン 改訂第2版, 2016.